

定期接種

- ・インフルエンザ菌 b 型（ヒブ）ワクチン

- ・肺炎球菌ワクチン

予防する病気 細菌性髄膜炎

インフルエンザ菌、肺炎球菌は中耳炎、気管支炎、肺炎などの原因となりますがヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンは細菌性髄膜炎の予防を目的としたワクチンです。細菌性髄膜炎は細菌が脳を包んでいる髄膜に感染する病気で最も重症な感染症の一つです。死亡したり重い後遺症を残すことがあります。

ワクチン接種

ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンともに生後 2 か月～5 歳未満が対象です。生後 2 か月から 4～8 週間間隔で 3 回接種し、ヒブワクチンは 3 回目の接種から 7～13 か月あけて、肺炎球菌は 1 歳になったら追加接種を行います。5 歳未満は無料で接種できますが乳児期の発症が多いので 6 か月ごろまでには 3 回の接種を完了させるようにしましょう。開始が遅くなると接種回数が変わりますのでその際は担当医の指導を受けてください。